

# 未来

全労協・郵政産業労働者  
ユニオン長崎中郵支部  
機関紙「みらい」  
NO. 4503  
24年12月3日(火)  
Tel・Fax 095-828-1953  
文責 支部書記長

## 11月期定例窓口開催 繁忙期の職場環境対策を要請

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員に正社員化を。めいびが、均等待遇、なぐさし差別。ユニオンは労基法裁判に勝利を収め、

おはようございます。  
12月に入り、繁忙期本番となりました。1日は12月上旬お歳暮ゆうパックの配達開始日でした。業務に携わった皆さんお疲れさまでした。  
11月21日、郵政ユニオン長崎支部は長中局と「11月期の定例窓口」を行いました。  
長中局からは郵便の滞留・超勤状況・採用状況などの説明がありました。郵政ユニオンからは、年末年始繁忙期における感染症対策、配達用集配力バンなど備品、新型カバン配備、遅れているといわれる休暇消化対策などについて説明と対応を求めました。

### 長中局から

○郵便物などの滞留  
11月はこれまで滞留はない



○新型コロナウイルス及びインフルエンザ感染症状況

○超勤状況  
10月期は30時間越え社員が22名。最高は4時間越えが2名。最高は42時間01分。先月行われた衆議院議員選挙対応で超勤が増加した。11月期は20日時点で20時間越えの社員はいない。  
11月20日現在、年換算目安240時間(30時間×8か月)を超えている社員は1名に減少。(年間の超勤時間が3・6協定オーバーとならないように引き続き超勤時間の注視を行っていく)

### ○採用状況

11月5日に第二集配で1名、三和集配センターで1名採用。また12月1日に第三集配と郵便部小包係で各1名採用の予定

今月20日現在、インフルエンザ感染症罹患者が1名。11月期は延べ7名がインフルエンザ感染症に罹患。新型コロナウイルス感染症罹患患者はいない。今後も感染予防対策を徹底する

### ○休暇関係

第三四半期、12月末までに80%消化が計画。10月末までに65・8%消化。今後も計画数値を目指していく

○郵政ユニオンからの年末年始繁忙要求書に対する回答  
誠意ある回答をするため整理中

### 郵政ユニオンから

○感染症への対策  
組) 年末年始繁忙期に対策として局が考えていることを明らかにすること

局) 手洗い、うがいの励行。消毒液を多めに配備する

定期的な換気(1時間ごと)に一回5分程度を実施。2階郵便部年賀コーナーの窓は開けっ放しにするなど

組) 第一集配作業エリアは換気が滞りがちなので対策をとること  
局) 換気の在り方など対策を行う  
組) インフルエンザの流行期に入っているが、これ以上感染が広がった場合には、マスクを配備するよう要請する  
局) 検討する



### ○休暇消化について

組) 第一集配で休暇消化が遅れているという理由で、先月月曜増区の減区を実施したが、効果はどれくらいあったのか  
局) 第一集配では、9月末は48・2%だったが10月末では58・9%と10%ほどあがっている。一定の効果はあったのではないかと考えている

組) 上がったといっても、ひと月経過したことが大きく、遅れていると思われる。80%を目指すとす上で今後無理な減区などは行わないこと

局) 確認する



### ○配達用備品について

組) 年末年始繁忙期は配達カバンやチルドBOXなどの備品が不足がちになる。早めに在庫の点検と必要数の確保を行うこと  
局) 在庫の点検と必要数の確保を行う

○新型カバン配備について  
組) 現行の集配カバンは配備後長い年月が経過しており破れなど破損したものやベルトの留め金が壊れたものを散見するが、更改・交換は進んでいない。そんな中、10月に新型の集配用カバンの配備が発表された。資料によると、都市部から配備されるようだが12月からは長崎県も配備の対象県になっている。また破損などの交換は新型カバンとなっている。早めに長中局にも配備されるように知恵を絞ってほしい  
局) 確認する

組) 確認する

